

梅雨前線及び台風第 2 号による大雨の状況について ～『災害をもたらした気象事例』に資料を掲載しました～

令和 5 年 6 月 1 日から 3 日にかけての梅雨前線及び台風第 2 号による大雨の状況に関する資料をとりまとめました。

気象庁では、大きな被害をもたらした気象事例や社会的な関心・影響が高い気象事例について、気象の状況を取りまとめた『災害をもたらした気象事例』として、ホームページで公表しています。

令和 5 年 6 月 1 日から 3 日にかけて、梅雨前線が本州付近に停滞し、前線に向かって台風第 2 号周辺の非常に暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となり、広い範囲で大きな被害が発生しました。

このことから、当時の大雨に関する資料をとりまとめ、『災害をもたらした気象事例』に掲載しました。

<災害をもたらした気象事例>（気象庁ホームページ）

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/bosai/report/index.html>

問合せ先：大気海洋部 気象リスク対策課 牛島、大塩

電話 03-6758-3900（内線 4256、4257）